

平成25年5月23日

三次市地域振興部地域振興課

---

---

## 米軍機低空飛行への抗議文送付

---

---

三次市は、アメリカ合衆国が、2013年4月に行った米軍機による低空飛行に対して、別紙の抗議文を下記送付先に送付しました。

- 1 送付日 平成25年5月23日（木）
- 2 送付先
  - ① 駐日米国大使館（東京都港区赤坂一丁目10-5）  
アメリカ合衆国  
駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 閣下
  - ② 米海兵隊 岩国航空基地（山口県岩国市三角町二丁目官有地内）  
米海兵隊  
岩国航空基地司令官 ジェームズ・C・スチュワート大佐 様
- 3 添付書類 抗議文

---

本件に関するお問い合わせ先

---



三次市 地域振興部 地域振興課 ひとつくり係

(担当/正廣)

電話番号:0824-64-2832 FAX番号:0824-64-2832

E-mail: chiiki @city.miyoshi.hiroshima.jp

〒728-0013 広島県三次市十日市東三丁目14番2号

三次市では、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により地域住民は、日々爆音や事故等の恐怖や不安に悩まされている。

このため、市として市民の不安解消と安全を確保する立場から、低空飛行訓練の中止をこれまでも再三、要請してきた。

本年4月以降も米軍機によるとみられる低空飛行の目撃情報が市へ寄せられ、その目撃件数や飛行回数は以前と比較して増加傾向にある。

寄せられた目撃情報の中には、学校上空での低空飛行も確認されるなど、平成11年1月14日の日米合同委員会における「住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払う」とされる合意内容が遵守されないことに、憤りを覚えるとともに、市民の安心安全な生活を守る責任を担う市としては、この状況を看過することは出来ない。

低空飛行訓練の中止要請は本市のみならず広島県や中国地方知事会、さらには全国知事会など他の関係機関も行っている。これらの要請を重く受け止めるべきである。

大使閣下におかれましては、日々繰り返される米軍機の低空飛行訓練によって激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民の平穏な生活が脅かされているという現実を改めて認識の上、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう強く要請する。

2013年5月22日

アメリカ合衆国  
駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 閣下

日本国 広島県三次市長 増田和俊

三次市では、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により地域住民は、日々爆音や事故等の恐怖や不安に悩まされている。

このため、市として市民の不安解消と安全を確保する立場から、低空飛行訓練の中止をこれまでも再三、要請してきた。

本年4月以降も米軍機によるとみられる低空飛行の目撃情報が市へ寄せられ、その目撃件数や飛行回数は以前と比較して増加傾向にある。

寄せられた目撃情報の中には、学校上空での低空飛行も確認されるなど、平成11年1月14日の日米合同委員会における「住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払う」とされる合意内容が遵守されないことに、憤りを覚えるとともに、市民の安心安全な生活を守る責任を担う市としては、この状況を看過することは出来ない。

低空飛行訓練の中止要請は本市のみならず広島県や中国地方知事会、さらには全国知事会など他の関係機関も行っている。これらの要請を重く受け止めるべきである。

大使閣下におかれましては、日々繰り返される米軍機の低空飛行訓練によって激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民の平穏な生活が脅かされているという現実を改めて認識の上、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう強く要請する。

2013年5月22日

米海兵隊

岩国航空基地司令官 ジェームズ・C・スチュワート大佐 様

日本国 広島県三次市長 増田和俊